

## 次回（第11回）学術集会のお知らせ

### いま、改めて、性犯罪被害の方の世界を理解する —当事者に寄り添うフォレンジック看護を目指して—

2024年8月24日(土)～8月25日(日)

会場：岩手県立大学 〒020-0693 岩手県滝沢市巣子 152-52

大会長 福島 裕子 岩手県立大学看護学部 教授  
実行委員長 米山奈奈子 秋田大学大学院医学系研究科 教授  
運営委員長 谷地和加子 岩手県立大学看護学部 准教授

#### 開催趣旨

刑法の改正により、同意のない性行為は犯罪とみなされるところまで日本の社会が歩みだしました。しかし、改正された刑法のもと、性暴力被害者の誰もが救済されるわけではありません。声を上げない、声を上げられない、こころの奥底にひそかにしまい込んで過ごしていく被害者も多くいます。幼少期に性的虐待を受けた方々もまさにそうです。

性暴力被害を許さない社会に近づいてきている今だからこそ、原点に戻るつもりで（理論に当てはめでの理解や裁判資料作成のようではなく）当事者の経験した主観的事実を大切に、彼ら・彼女らの世界をありのまま理解し、真に寄り添う支援をみんなで考えたい・・・、そんな願いでこのテーマを掲げました。

会場は、訪れるべき街としてニューヨークタイムズで紹介された盛岡市の隣です。情緒あふれる盛岡市の町並みも、この機会にぜひ堪能していただければと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

#### プログラム

##### 大会長講演

「児童養護施設の思春期女子の経験世界を  
“まなざす” リプロダクティブ・ヘルスケアの実践（仮）」  
講演、シンポジウム等 未定

